

第5回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成24年10月10日 18時30分開始

2. 開催場所 FMぎんが 2階会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

委員出席 5名

出席委員の氏名 吉見満雄委員 中間隆志委員 加藤俊文委員 下吉秀知委員
牧眞弘委員

放送事業者側出席者 中崎宗治代表取締役 中崎啓文局長 濱田英作

4. 議題 一、現在進行中の事業報告
二、番組全般に関する意見交換

5. 議事の概要

これまでの放送番組審議会の中で意見、答申を頂いた件について、具体的な措置、行動などが行われている分についての報告を行った。また現在放送されている各番組について、委員より意見を頂戴した。

6. 審議内容

(◎=放送事業者側出席者 ○=番組審議会委員出席者)

◎中崎局長

これまで開催された番組審議会の中でご意見を頂いた内容のうち、すぐに始められるものから着手しています。番組「めざましFM786」の水曜日のパーソナリティを新たにある方にお願ひし、既にその体制での放送が始まっています。

○吉見委員

その方はどういう方ですか？

◎中崎局長

番組「てんがらもんラジオ」にレギュラー出演中の地元西伊敷にお住まいの60代半ばの女性の方です。また、これまで「めざましFM786」では火曜と木曜に番組「てんがらもんラジオ」中で放送した、防犯コーナー及び知恵袋のコーナーを放送していましたが、そういった担当の変更に伴い再放送枠の見直しを行い、現在、7時台に月曜午後5時台に放送中の番組「ぶらりさつま」の再放送、8時台には「てんがらもんラジオ」

の再放送を行っています。

さらに、毎週金曜日の午前8：40に、菜の花マラソンへ挑戦するドキュメントを実験的に放送しています。また、毎週火曜日の「DONDONブレイクさつま」の中でコーナーを持っている日本予防医学推進協会にも、そのコーナーを帯で放送したい旨を説明し了解を頂いています。

○吉見委員

いいテーマだと思います。

◎中崎局長

また、番組と番組の間の音楽放送の時間の選曲を、60代のスタッフにお任せし、その世代の嗜好にあわせる選曲をしたところ、とてもいい選曲ですねという反応を頂いています。

○吉見委員

新たにパーソナリティを希望されている方がいるのですか？

◎中崎局長

はい。卓球で優秀な成績を修められ国体などにも出場経験のある方です。

○吉見委員

鹿児島は卓球人口の多い地域でもあります。この方の経歴から卓球やその他のスポーツを取り扱わせることで、そういった情報ニーズにアプローチするやり方もありますね。予防医学推進協会との連携を核に、スポーツ、アンチエイジングなどをキーワードに最終的には健康づくりへ結びつくような番組を構築していくのもいいかもしれません。

◎中崎局長

街を元気にしていくのに、若者を巻き込むだけでなくまだまだ元気のある高齢者層がいかにも後も元気でい続けるかにアプローチすることも大切だと感じています。

○吉見委員

そういう方は、固定リスナーになってくれる可能性がある層だと思います。

○加藤委員

放送に興味を持っている学生からお手伝いを頂くことは出来ないでしょうか？中学生が職場体験をする例などもありますか？

◎濱田英作

11月の中旬に吉野中学校の生徒が職場体験に来る予定です。

○吉見委員

大学の放送研究会なども巻き込んでしっかりタッグが組めるようになったら、そういう職場体験実習を思い切ってらせてみるのも良いかも知れませんよ。

○加藤委員

放送を聴いていただくことを目標とする、イベントを計画したりはしないのでしょうか？ 内容によっては助成制度あるような場合もあるようです。

◎中崎局長

イベントは計画しているものはありますが、まだ素案の前段階で、まだ計画として示せる状態まで来ておりません。

○吉見委員

自主イベントもそうですが、現在放送に関わる方々が属する団体などのイベントの中から、FMぎんがの方向性と合致するものを共催としバックアップすることでも、そういった活動は実現できますよ。

◎中崎局長

これまでお話をさせていただいた各種団体の方々も、それぞれ今後の展望があり、FMぎんがとの連携の余地も見出させていただいています。そういった団体とWIN-WINの関係が出来るところに何か仕掛けて行きたいと思います。

◎濱田英作

それでは引き続きまして、弊社が放送する番組全般について何かご意見がございませんでしょうか？

○吉見委員

音楽が高齢者層が聞きやすい、ひと昔前の曲が多くなって来ましたね。

○加藤委員

しかし、ここ2,3日聞いていると同じ曲が流れる頻度が多いのでは？

◎濱田英作

はい。ミュージックタイムで流れる音楽は、現在素材として手元にあるものの数が少なく、長時間聴いておられる方にはそのように感じられることがあろうかと思います。

○吉見委員

落語などを流すのもいいかもしれませんね。

◎濱田英作

以前、リスナーより直接そういった声もあったのですが、落語は振りから落ちまである程度尺がいるもので、その選別に割ける時間がなく断念した経緯がありました。

○吉見委員

最近のCDなどで販売されている落語は、そういう長いサイズのものではなく15分くらいで聞ききれものが多いですよ。

◎中崎局長

鹿児島市内の大学には落語研究会などはあるのでしょうか？

◎濱田英作

あるはずです。

◎中崎局長

ならばそこでも学生との連携が出来そうですね。

○吉見委員

それは良いアイデアですね。

◎中崎局長

そのほかご意見ございませんでしょうか？

○下吉委員

朝の番組中で再放送音声を使用しているとき、時折既に終了したイベントの案内などを流してしまっていることがありました。これには対策は出来ないでしょうか？

◎濱田英作

てんがらもんラジオの生放送の際に、言葉を置く順番などで編集がやりやすくなるような工夫は出来ます。また編集の担当とも対策を話し合います。

○吉見委員

鹿児島市役所や各支所との連携を構築し、公共の広報の一助になるような放送を目指すのが良いでしょう。

○加藤委員

そういう地域の小さな情報が見える発信の中で、それぞれの地域の中にいる人物、人材の発掘になるような放送も出来るのではないのでしょうか？

◎中崎局長

私どもの掲げる地域密着放送のひとつの切り口として、そういった連携や放送の活用にもアプローチしていこうと思います。

7. その他の連絡事項

最後に、次回番組審議会を平成24年11月21日 18:30よりFMぎんがにて開催することを確認し、今回の番組審議会を閉会した。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① 自社放送：平成24年10月29日午前9時からの音楽番組の前半に特番で放送
- ② 書面の備置き：平成24年10月29日から、当該事項を記載した書面（議事録）を事務所へ備置き
- ③ インターネット：平成24年10月29日より当社インターネットのホームページに転載

以上

議事録作成 濱田英作